

事業所名

放課後等デイサービス ぱびぷべぼ

支援プログラム (参考様式)

作成日

7年

1月

10日

法人(事業所)理念		私たちは子どもたち一人ひとりの主体性を尊重し、人との関わり・コミュニケーションを大事に、食べる・遊ぶ・学ぶ楽しさを提供することで自尊心を高め、将来生きていく力を育みます。											
支援方針		『社会の一員』・社会で生きる為に必要な「自分のチカラ」を育む。											
営業時間		平日(月～金)	10時	00分	19時	00分	送迎実施の有無	あり	なし				
		土・長期休み	9時	00分	16時	00分							
支援内容													
本人支援	健康・生活	子どもの小さな心身の変化を見逃さないよう、体温計測や体重測定等を行い健康状態を把握しています。子どもたちが自立して日常生活や社会生活を行なうために、生活訓練として家事全般(トイレ掃除・掃除機・雑巾掛け・掃き掃除・お皿洗い)訓練中。着替えの際は自分でできることは積極的にやってもらい、できないことをサポートするようにし、衣類脱着時はプライベートゾーンを隠しながら行なう様声掛け促しています。クッキングを通して正しい調理方法や健康な食育について学んでいます。正しい生活リズムや基本的な生活スキルを身につけられる様にサポートしています。											
	運動・感覚	運動や遊びを通し正しい姿勢や運動機能を身につけるため、トランポリンやバランスに必要な器具(ラダー・半球バランスボール・バランスボール)を使用し楽しみながら意欲を引き出しています。バランスボールでの姿勢保持は効果的です。体育館活動・ドッジボール・公園活動等身体を動かす遊びを多く取り入れています。聴覚過敏の子に対してはイヤーマフ等の耳当てにて対応し静かな環境の提供を行なう。											
	認知・行動	ブロックやパズルを使って、物の数や形・色の変化等を学習しています。認知機能を発達させることで、空間や時間・数などについて学ぶ事が出来ます。主に取り組んでいる事は、アイロンビーズを行い、図案を見て数え並べる・間違えた箇所を直す・指で摘んで置く等多くの認知機能の発達を促進します。運動遊びを取り入れる事で、力加減の調整・人とぶつかる事の距離感を学んでいます。予定変更が苦手の子には事前に予定を伝え気持ちの準備をして貰います。また、1日のスケジュール等をホワイトボードにて視覚化する事で予測が立てられスムーズに行動する事が出来る様に支援しています。											
	言語コミュニケーション	言葉や文字、ジェスチャーや筆談など様々な方法を活用して、子どもが必要なコミュニケーション能力を身につけられるよう支援を行っています。スタッフやほかの子と会話することで言語を学び、SSTを取り入れ自分の気持ちや思いを言葉にし、社会生活を行なう上でのスキルを身につけています。始まりの会の日直さんの司会進行・帰りの会での挨拶訓練を実施しています。いつでも・どこでも誰にでも挨拶できる様に訓練しています。自分の意見だけではなく相手の言葉を理解する様に聞くことの学習も行います。宿題や学習の支援も行なっています。											
	人間関係社会性	人とのつながりを通して、信頼関係の作り方や集団への参加方法を学んでいきます。人と関わることで、自分の感情の変化を理解しコントロールする方法も学んでいきます。集団活動や周囲の子どもたちと遊ぶことが苦手な子ども、ルールを工夫する事で参加出来るので、手順やルール決めを確実にこなす様支援しています。ままごとやごっこ遊びなどを行うことで社会性や想像力の発達を促します。											
家族支援		家庭での悩みや学校での不安事項についてLINEやSNSツール・連絡帳を活用し情報共有を行う。また、子育てサロン(保護者勉強会)の実施。					移行支援		ライフステージの切り替えを見据えたサポート体制を整えています。定期的なモニタリングを通し情報共有を行っています。支援上課題がある場合は学校や関係機関を交えケース会議の実施。				
地域支援・地域連携		地域の祭りや町が主催する防災訓練に参加。					職員の質の向上		年2回の外部講師による研修会。朝のミーティング・日々の振り返りや定期的に内部研修・勉強会・合同ミーティングを実施しています。				
主な行事等		年間を通し、季節に応じた行事の実施。地域の公園・公民館・グラウンドでの活動											